

小学校の先生への メッセージ

学習指導要領から
授業をつくって!
(読み方をお教えます!)

授業を変えるために
わたしたち教師に
できること

小倉 先生方にお伝えしたいことは、“学習指導要領をきちんと読んでください”ということです。学習指導要領には読み方があるのです。構造（下の資料参照）を理解して読み返してください。そうすると、どのように学習していけばよいのか分かります。何について着目して（問いをつくって）、どのように学習していけばよいのか書かれています。そして、まとめたことをもとに、何を捉えて、このようなことを考えると理解に至るというような構造で書かれています。

学習指導要領を全部読むのが無理でも内容の部分の読み方さえ分かれば、おおよそ“どのような学習過程でどのような授業をすればよいのか”、“最後に子どもがたどり着く理解は、何か”ということがきちんと分かるようになっているのです。

板倉 新学習指導要領の全面実施を迎えるに当たって、授業をどう変えればよいのかと悩む先生もいるかもしれません。教師になったばかりの先生はなおさらそうだと思います。わたしたち現場の教師にできるのは、まず自分の授業をふり返ることではないでしょうか。「今日の授業で、子どもたちに問

いはしっかりと届いていたのかな?」「子どもたちは話し合う必要感をもって、対話をしていたのかな?」きっとどこかに改善の余地があるはずです。

わたしたち教師が今日の授業をふり返り、「きっとあの子は、もっとよい学びができたのかもしれない」と思った時に、

教師自身にも「どうすればよい授業になるのかな?」という切実な問いが生まれるのだと思います。それを解決するために必死になって調べたり、質問したりする姿は、教師として主体的で対話的な姿だと言えるのではないのでしょうか。きっとその先には、教師としての深い学びがあり、授業が変わっていくのだと思います。

社会的な見方・考え方を働かせながら自分の考えをもち、友だちと関わり合いながら、多角的に問題を解決していく姿を見ているのは、教師としてとても嬉しいものです。そんな姿を明日の授業でも引き出せるように、学習指導要領をしっかりと読み、教材研究をして、ワクワクした気持ちで子どもたちの前に立てるよう、これからはがんばっていききたいですね。

学習指導要領の構造（読み方）

(1) **A**について、学習の問題を追及・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識や技能を身に付けること
(ア) **B**を理解すること
(イ) **C**などで調べ、**D**などにまとめること

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること
(ア) **E**などに着目して、**F**を捉え、**G**を考え、表現すること

要約すると

Eなどに着目して、**C**などで調べ、**D**などにまとめて、**F**を捉え、**G**を考え、表現することを通して、**B**を理解すること

「市の様子」の学習では、何に着目させればいいのか。



えっと、Eには、市の位置、市の地形や土地利用、交通の広がりなどを書いてあるよ。

